

# 院生男子の結婚道



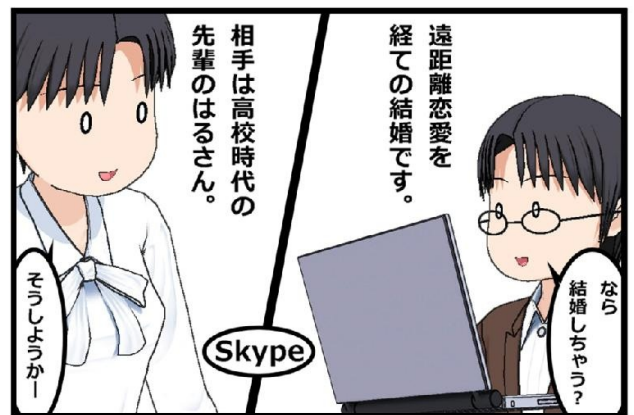
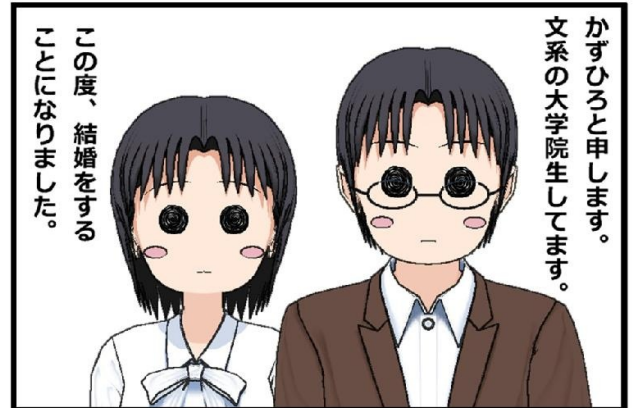
西嶋一泰

第一話〜第一〇話

The Road to Marriage of a Graduate Student

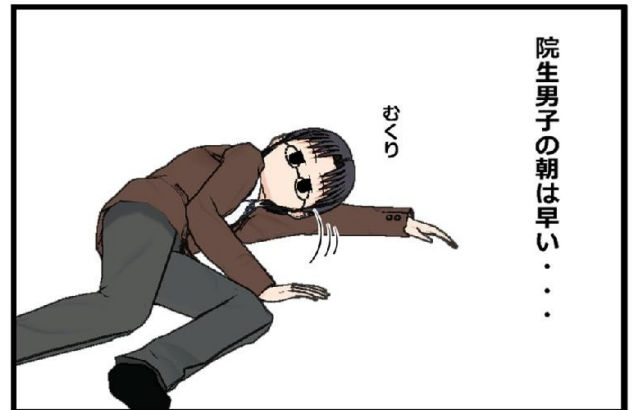
どうも、はじめまして。かずひろと申します。院生やってます。院生といっても、日本棋院の院生ではなく、大学院生です。あしからず。あの『anan』でも「院生男子」を特集した記事が組まれるいっぽうで、「高学歴ワーキングプア」ともいわれる行き場のない博士たちが社会問題化したりしています。そんな院生でも、恋もすれば、結婚もする！ということで、巷で噂の院生男子のお気楽でプアな結婚珍道中をリアルタイムでお送りしていきたいと思えます。

いんせいだんし けっこんみち  
院生男子の結婚道



かずひろです。一人暮らしの院生時代は普通に昼過ぎぐらいまでぐだぐた寝ていることもよくありましたが、同居人が朝の時間が決まっていると自然とそれにあってきます。生活のバイオリズムも徐々に同調しはじめる...のでしょうか。ただ、私は一定の睡眠時間を確保しないと駄目な人なので、はるさんには申し訳ないながら見送った後にたまに二度寝してしまいます。でも、二度寝をしたとしても、以前より全然規則正しい生活を送っているのです。一人暮らしはだらけはじめるときりがないですからねえ。

## 院生男子の優雅な朝



院生、というか研究者は自由になる時間が多いです。ただし、仕事量は決して少なくありません。自分で本を読み、行くべき研究会を見極め、しかるべき時期に発表を行い、きっちり論文を書く...というスケジュールを自分で管理していかなければなりません。そのためには、精神的にタフであること、生活にメリハリがあること、気分転換ときっちり仕事をする時間があることが必要です。これは人によりますが、一定の家事といった日常的に規則正しくやることがあると生活リズムがつきやすく、集中して仕事ができる時間も確保できるような気がします。子どもができたなら、また違うのですが、まあ、とりあえずは。

## 院生男子の華麗な午前





大学院生は結構パソコン一台で仕事がいろいろできてしまいます。特に私は自炊派なので。自炊といっても料理を自分で作るのではなく（作ってますが）、レジュメや書籍をスキャナーで読み込んで電子化することを俗に自炊といいます。本を読むのも、論文書くのも、連絡取るのもパソコン一台でできてしまうわけです。最近では、京都の研究会をウェブ中継してもらって、参加する・・・という実験的な試みもしてもらっていたりします。でも、さすがにパソコン仕事ばかりだと気が滅入ってしまいますので、家事はちょうどよい気分転換になります。

## 院生男子の瀟洒な午後



あ、この前の研究会の！  
論文ファイルを  
メールに添付して  
返信つと。



あー、この問題、この前スキャンした  
本の三章に書いてあったな  
ファイルどこおいたっけ



お、大学関係のホームページの  
更新依頼がきてるな。  
バイトバイトつと。



これは・・・二一ト？

※結構パソコンで完結

ひと仕事終えたあとの  
ニコニコ動画  
たまらんわ！

平日の夕飯は、はるさんは会社近くで、私は自宅で食べるのがデフォルトです。はるさんの残業はほんとに多くて、指導が入るほど。その部署の人はみんなそんな感じらしいのですが、それなら割高な残業代をみんなに払うより、新しい人一人雇うほうがよいんじゃないのかな、とはたからみていると思います。会社って不思議。グリーンカレーペーストは、近くの輸入食材屋で購入。ココナツミルクとあわせて何度か作りおいしかったのですが、味があと一つ足りない。普通のルーとあわせてみたり、豆乳でつくってみたり、アレンジしながら挑戦中です。

## 院生男子の清閑な夜

「十時ごろ帰ります。食べといて」



お、はるさんからメール。

あ、グリーンカレーペースト買ってあったな。



なにたべよーかなー

何とか日付変わる前に帰れた！。

お疲れー。



はるさんは今の部署に異動になって残業が増えました深夜2時に帰ってくることもみんな残業するなら新しく人雇えばいいのに、と思いますが大変なんだろーなー

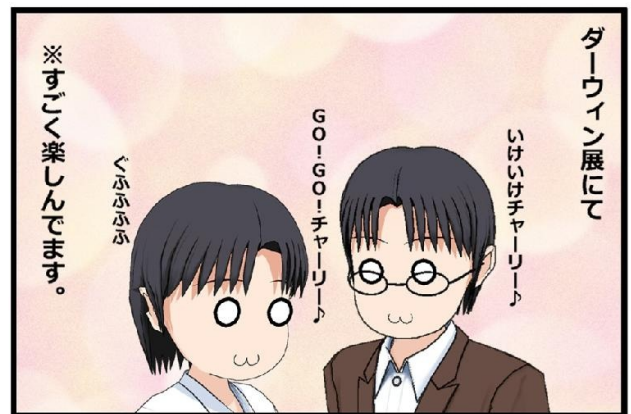
今日もお疲れ様

すーすー



夜行バスは、本当によく乗ります。時間はあるけど金はない学生の友です（あと体力も必要）。四列シートの夜行バスは東京—大阪間で4000円を切るものもあるなどほんとに格安。しかし、観光バス並みの席の狭さに、肩を付け合せる隣の乗客にストレスが溜まることも。タイトルは「水曜どうでしょう」から。「サイコロの旅シリーズ」は必見。ちなみにうちは二人とも「どうバカ」です。ダーウィン展は、2008年に国立科学博物館のです。ダーウィンの愛称はチャーリー。好奇心の塊であるチャーリーの逸話に二人とも心奪われておりました。

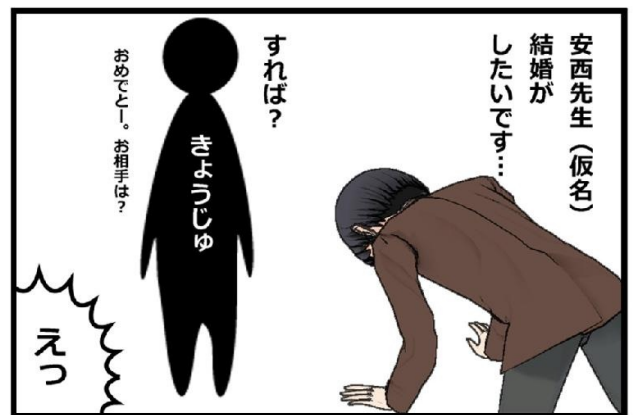
## 深夜バスどうでしょう





大学院生は、修士課程（2年）と博士課程（3年）があります。修士の場合は授業がありますが、博士課程は授業は基本ありません。これは研究室によって本当に違いますが、手取り足とりのところ、徒弟制度的なところ、放任なところなど様々。とにかく博士課程は、自分で研究して論文出して、博士論文をかけばOK！というところがあるので、意外と融通がききます。うちの研究科にそもそも社会人学生が多かったり、またフィールドワークで世界中を飛び回ってなかなかゼミに出れずにいる人も多く、そういう下地があったの即OKでした。いやあ、本当によかったです。そして、夜行バスとはまたしばらくのお付き合いになりそうです。

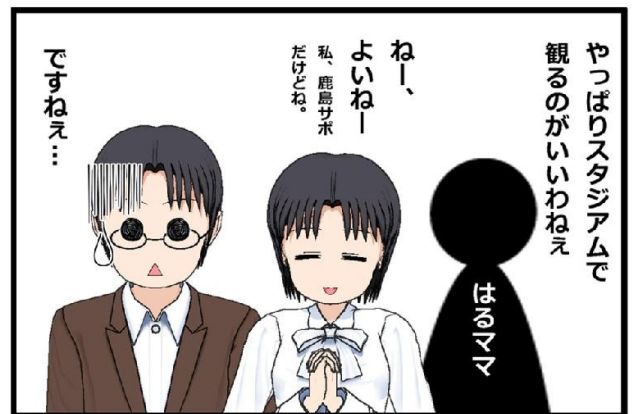
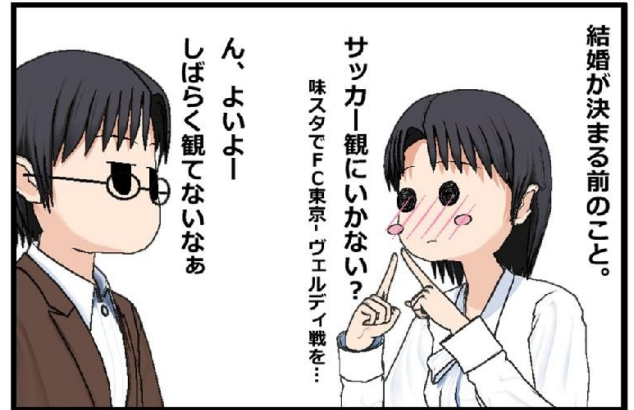
## 頼み込み（教授編）





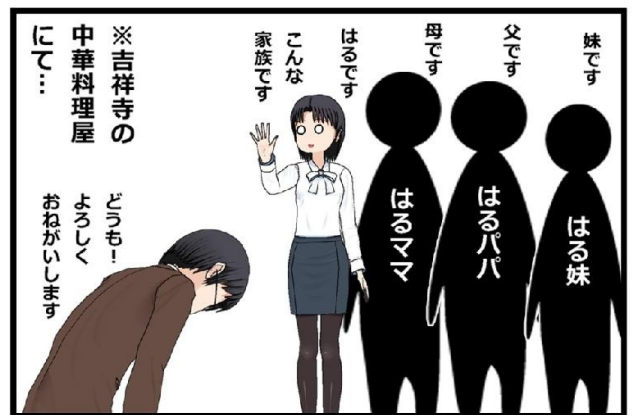
はるさんの家族にはJリーグのファンが多いです。はるさんは鹿島アントラーズ、妹さんは柏レイソル、お母さんは東京ヴェルディ（今は違うらしい）で、互いの情報交換も活発に行っています。鹿島スタジアムにもよくデートで行きます（もつ煮がうまい）。そんなわけで、付き合ってから改めてはるさんのお母さんに会ったのは、味の素スタジアム。実際は、事前に来ることは知っていましたが、まさかこんなところで挨拶をすることになるとは、びっくりでした。はるさんがお手洗いに行くと、二人きりになって、何を話そうか必死に考えていた私がいいます。（話せば、なんということはないのですがねえ）

## 第一種接近遭遇



はるママとの遭遇イベントに引き続き、はる一族との会合です。三鷹に何かと縁がある私たちは、吉祥寺で食事をとることに。エスニック料理屋が立ち並ぶ東急裏の中華料理屋、大龍門で初顔合わせとなりました。はるパパも気さくな人で、まさかの Kindle (Amazon の電子書籍端末) トークが盛り上がり、はるママに至っては2ちゃんねるを割と使っているという衝撃の展開。そして、わきあいあいと進む会話。「娘さんを僕にください！」的な展開なく、普通に楽しんじやいました。かしくまったとこなく終わりましたが、大丈夫でしたよね？

## 頼み込み (家族編)



これも完全に家族環境によると思いますが、まあ、実家の親には、「彼女ができた」や「結婚するわ」みたいな、浮いた話は照れくさくて切り出しにくいものです。彼女を連れて、家族と食事をするときもなんだかんだと遅れてしまいましたし、結婚の報告もこちらが恥ずかしくてどんな風に伝えたらいいかわからず、できるだけ普通のトーンで話していたら、向こうも普通のトーンで返ってきて逆にびっくり！ 息子が結婚すんねんで！もうちょっと驚けや！と思わず関西弁でツッコミを入れそうになりました。いやしかし、さしたる障害なく進む結婚の段取りに、逆に戸惑う私。何かのフラグか…！？

## 頼み込み（実家編）





**院生男子の結婚道  
第一話～第一〇話  
2011年04月20日  
編集発行 西嶋一泰**



<http://sites.google.com/site/souryukutsu/>  
**電子書籍を配布&販売中**

**The Road to Marriage of a Graduate Student**